



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	10-4223-3	版	10.00
発行日	2023/05/22	前発行日	2021/03/10

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> ダイナマー<sup>™</sup> FX-5166

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

硬化剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	化学製品事業部
電話番号	0570-022-123 (ナビダイヤル)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

急性毒性（経口）： 区分4  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1  
皮膚腐食性/刺激性： 区分2  
生殖毒性： 区分1  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分2  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3  
水生環境有害性 短期（急性）： 区分2  
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

腐食性 感嘆符 健康有害性 環境

## ピクトグラム



## 危険有害性情報

H302	飲み込むと有害
H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H371	臓器の障害のおそれ： 感覚器。
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

## 安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

## 応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P330	口をすすぐこと。
P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391	漏出物を回収すること。

## 保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
-------------	-----------------------------

P405 施錠して保管すること。

## 廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

## その他の有害性

熱傷を起こすことがある。

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アリルトリブチルホスホニウムクロライド	1530-48-9	35 - 45
非晶質沈降シリカゲル（ナノマテリアル）	112926-00-8	25 - 35
スルホラン	126-33-0	20 - 30
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	0.10
メチルアルコール	67-56-1	1.4

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の冷水で15分間以上皮膚を洗浄する。付着した溶解物を無理に剥がそうとしてはいけない。患部を清潔な布で覆い、直ちに医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに大量の水で、少なくとも15分間眼を洗う。溶解した物質を除去してはいけない。すぐに医学的注意を手に入れる。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

本製品にはメタノールが含まれている。メタノール中毒は、代謝性アシドーシス、失明および死をもたらすことがある。徴候や症状は18時間ないし24時間後に発現するおそれがある。メタノール中毒が確実であると判断された場合は、エタノールの静脈内投与（IV）を考慮すべきである。追加の薬理学的処置および支持療法は医師の判断にもとづいて実施すべきである。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

**使ってはならない消火剤**

情報なし。

**特有の危険有害性**

本製品では予想されない。

**有害な分解物または副生成物****物質**

一酸化炭素

二酸化炭素

塩化水素

リン酸化物

硫黄酸化物

毒性蒸気、微粒子

**条件**

燃焼中

燃焼中

燃焼中

燃焼中

燃焼中

燃焼中

**消火作業者の保護**

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

熱した材料に触れないこと。工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。指定された個人保護具を使用する。

**保管**

換気の良い場所で保管すること。水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。

**8. ばく露防止及び保護措置**

## 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	ACGIH	TWA:1 ppm;STEL:2 ppm	皮膚吸収の危険性。 A3: 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明
メチルアルコール	67-56-1	ACGIH	TWA : 200ppm、STEL : 250ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルアルコール	67-56-1	ISHL	TLV (8時間) : 200 ppm	
メチルアルコール	67-56-1	JSOH OELs	TWA (8時間) : 260 mg/m <sup>3</sup> (200 ppm)	皮膚

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

#### 保護具

##### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

##### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

##### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

有機ガス用マスクは使用可能時間が比較的短い。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

#### 熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	粉状
色	白色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	> 126.7 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	1.3 g/cm <sup>3</sup>
比重	約 1.3 [参照基準: 水=1]
溶解度	適用しない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない
揮発性有機化合物	適用しない
揮発分	適用しない
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	適用しない
モル重量	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

知見はない。

#### 混触危険物質

水

容器が大気圧以上に加圧されない条件であれば、水、アルコール類、アミン類との反応は危険有害ではない。

#### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

##### 皮膚に付着した場合

皮膚の熱傷（加熱中）：予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。皮膚刺激：発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

##### 眼に入った場合

眼の熱傷（加熱中）：予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。化学物質による眼の葉傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

##### 飲み込んだ場合

飲み込むと有害 胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

## その他健康影響情報

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。 失明のおそれ。

### 生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

### 発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－粉塵 /ミスト(4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
	経口摂取	ラット	LD50 496 mg/kg
	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
	吸入－粉塵 /ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
	皮膚	ウサギ	LD50 4,897 mg/kg
	吸入－粉塵 /ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 12 mg/l
	経口摂取	ラット	LD50 1,846 mg/kg
メチルアルコール	皮膚		LD50 推定値 1,000 - 2,000 mg/kg
メチルアルコール	吸入－蒸気		LC50 推定値 10 - 20 mg/l
メチルアルコール	経口摂取		LD50 推定値 50 - 300 mg/kg
3-クロロ-1-プロペン	皮膚		推定値 1,000 - 2,000 mg/kg
3-クロロ-1-プロペン	吸入－粉塵 /ミスト		推定値 > 12.5 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	吸入－蒸気		推定値 10 - 20 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	経口摂取		推定値 300 - 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
----	-----	---------



	ウサギ	刺激物
	ウサギ	刺激性なし
	ウサギ	わずかな刺激
メチルアルコール	ウサギ	軽度の刺激

## 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
	ウサギ	腐食性
	ウサギ	刺激性なし
	ウサギ	中程度の刺激
メチルアルコール	ウサギ	中程度の刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
	ヒト及び動物	区分に該当しない。
	モルモット	区分に該当しない。
メチルアルコール	モルモット	区分に該当しない。

## 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
	In vitro	変異原性なし
	In vitro	変異原性なし
メチルアルコール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルアルコール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルアルコール	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 700 mg/kg/日	14 日
	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 60 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
メチルアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg/日	21 日
メチルアルコール	経口摂取	発生機能に有毒	マウス	LOAEL 4,000 mg/kg/日	器官発生期
メチルアルコール	吸入した場合	発生機能に有毒	マウス	NOAEL 1.3 mg/l	器官発生期

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 200 mg/kg	適用しない。
メチルアルコール	吸入した場合	失明	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メチルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
メチルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 非該当	6 時間
メチルアルコール	経口摂取	失明	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
メチルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
	吸入した場合	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	LOAEL 0.5 mg/l	27 日
	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 0.02 mg/l	90 日
	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	サル	LOAEL 0.5 mg/l	27 日
	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 0.16 mg/l	90 日

	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 700 mg/kg/day	28 日
	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 60 mg/kg/day	28 日
メチルアルコール	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6.55 mg/l	4 週
メチルアルコール	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 13.1 mg/l	6 週
メチルアルコール	経口摂取	肝臓   神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	90 日

### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
	1530-48-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	24.38 mg/l
	1530-48-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.53 mg/l
	1530-48-9	緑藻類	実験	72 時間	EC10	3.41 mg/l
	112926-00-8	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	>173.1 mg/l
	112926-00-8	底生生物	実験	96 時間	EC50	8,500 mg/kg（乾燥重量）
	112926-00-8	ミジンコ	実験	24 時間	EL50	>10,000 mg/l
	112926-00-8	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LL50	>10,000 mg/l
	112926-00-8	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	173.1 mg/l

	112926-00-8	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	68 mg/l
	112926-00-8	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
	126-33-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
	126-33-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
	126-33-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	40 mg/l
	126-33-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
	126-33-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	アフリカツメガエル	実験	48 時間	LC50	0.34 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	ファットヘッドミノウ(魚)	加水分解生成物	96 時間	LC50	0.589 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	緑藻類	加水分解生成物	72 時間	ErC50	5.38 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	ミジンコ	加水分解生成物	48 時間	EC50	1.65 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	緑藻類	加水分解生成物	72 時間	NOEC	0.93 mg/l
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	ミジンコ	加水分解生成物	21 日	NOEC	0.919 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	16.9 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	海産二枚貝(ムール貝)	実験	96 時間	LC50	15,900 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	15,400 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	22,000 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	底生生物	実験	96 時間	LC50	54,890 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3,289 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	9.96 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	メダカ	実験	8.33 日	NOEC	158,000 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	122 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	大麦	実験	14 日	EC50	15,492 mg/kg (乾燥重量)
メチルアルコール	67-56-1	シマミミズ	実験	63 日	EC50	26,646 mg/kg (乾燥重量)
メチルアルコール	67-56-1	トビムシ	実験	28 日	EC50	5,683 mg/kg (乾燥重

ール						量)
----	--	--	--	--	--	----

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
	1530-48-9	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シユツルム試験又は二酸化炭素
	112926-00-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	126-33-0	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	10.1 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	62 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	1.4 日 (t 1/2)	
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	8 日 (t 1/2)	
メチルアルコール	67-56-1	実験 生分解性	3 日	%	91 %	
メチルアルコール	67-56-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	92 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
メチルアルコール	67-56-1	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	35 日 (t 1/2)	
メチルアルコール	67-56-1	実験 好気性土壌代謝	5 日	二酸化炭素の発生	53.4 CO2発生量/理論CO2発生量%	

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
	1530-48-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	<0.3	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
	112926-00-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	126-33-0	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<13	
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<5.6	OECD305-生体濃縮度試験
3-クロロ-1-プロペン	107-05-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.1	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
メチルアルコール	67-56-1	実験 BCF -	3 日	生物濃縮係数	<4.5	

ール		魚			
メチルアルコール	67-56-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.77

**土壤中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意****国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

**主な法規制物質**

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
3-クロロ-1-プロペン	塩化アリル	該当	該当
メチルアルコール	メタノール	該当	該当

**16. その他の情報****改訂情報**

セクション 1：製品名 情報修正.

セクション 1：製品用途 情報の追加.

セクション 2：環境影響ステートメント 情報修正.

セクション 2：GHS分類 情報修正.

セクション 2：健康有害性 情報修正.

セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正。  
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。  
セクション3：成分表 情報修正。  
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。  
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。  
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。  
セクション8：mg/m<sup>3</sup> 記号 情報の追加。  
セクション8：作業環境許容値 情報修正。  
セクション8：保護具 - 眼 情報修正。  
セクション8：保護具 - 吸入 情報修正。  
セクション8：ppm 記号 情報の追加。  
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。  
セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正。  
セクション9：発火点情報 情報修正。  
セクション9：蒸発速度情報 情報修正。  
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正。  
セクション9：揮発分 情報修正。  
セクション9：pH情報 情報修正。  
セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正。  
セクション9：蒸気圧 情報修正。  
セクション9：粘度 情報修正。  
セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正。  
セクション9：揮発性有機化合物 情報修正。  
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。  
セクション11：急性毒性の表 情報修正。  
セクション11：発がん性の表 情報修正。  
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。  
セクション11：生殖細胞変異原性 情報の追加。  
セクション11：健康影響情報（眼） 情報修正。  
セクション11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正。  
セクション11：健康影響情報（皮膚） 情報修正。  
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。  
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。  
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。  
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。  
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。  
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。  
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正。  
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。  
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。  
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。  
セクション14：容器等級グループの標準フレーズ 情報の削除。  
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。  
セクション14：IATA分類の標準フレーズ 情報の削除。  
セクション14：IMO分類の見出し標準フレーズ 情報の削除。  
セクション14：国連番号の標準フレーズ 情報の削除。  
セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。  
セクション15：法規名 - 表 情報の削除。  
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**